

想定した品目

えんどう(スナップ:露地)

1. 技術体系の特徴

品目	家族労働力	品目・栽培型及び規模			経営・技術の特徴	
えんどう(スナップ:露地)	人	えんどう(スナップ:露地)			a	1. 露地栽培 2. 連作障害回避のため 土壌消毒を実施 3. 適期播種を行い生産 安定に努める
	2				10	
		経営耕地面積	水田	190		
			畑	10		
経営目標		1 農業総収入	1,136 千円	4 1日当たり農業所得	14,763 円	
		2 農業経営費	501 千円	5 1人当たり年間労働時間	172 時間	
		3 農業所得	635 千円			

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所 割	有 合	取得価格	耐用 年数	年間 償却額
						千円	年	千円
建物・施設	作業及び収納舎 農機具倉庫	1	軽量鉄骨 60m ²	1	1	2,640	24	110
		1	軽量鉄骨 20m ²	1	1	880	24	37
	計					3,520		147
農機具	トラクター	1	20PS	1	1	1,817	7	130
	動力噴霧機	1	可搬式	1	1	213	7	15
	管理機	1	6.2PS	1	1	200	7	14
	トラック	1	軽トラック	1	1	807	4	101
	計					3,036		260

3. 技術体系 (えんどう:スナップ露地)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(本ば) 耕うん 整地	耕起整地	8月上	トラクタ	1	4	4	堆肥 2t 石灰質資材 100kg	深耕及び有機質の施用 pH6.5~7.0程度に矯正する
	うね立て マルチ	8月中	管理機	2 2	2 4	4 8		
施肥	基肥施用	8月中	トラック トラクタ	2	2	4	N 25kg P ₂ O ₅ 25kg K ₂ O 24kg	基肥は全層施肥 追肥は収穫開始からN成分1 ~2kg/10a施用する
	追肥施用	10月上 ~12月上	管理機	1	2	2		
土壌消毒	薬剤のかん水 チューブによる 施用	8月中	液肥混入 機 かん水 チューブ	2	3	6	クロピクフロー 30kg/10a	県病害虫防除基準による 液剤が処理時に漏れないよう に注意する。 連作障害対策として実施す る。
播種		9月上 ~9月中	トラック	2	3	6	種子4リットル/10a	栽植密度(1条) うね幅1.3m×株間20cm 10a当たり 8,800株
支柱立て 誘引		9月中 ~11月下	トラック	2	21	42	支柱 400本 誘引ネット 740m	支柱間隔 1.5~2m
管理	整枝 摘花	10月上 ~11月下		2	24	48		下から10節までのわき芽及 び花は除去する
病害虫防除	薬剤散布	9月中 ~11月下	動力噴霧 機	2	7	14		県病害虫防除基準による
収穫出荷		10月上 ~12月下	トラック	2	94	188		莢の厚みが1.0~1.2cmの頃 に収穫を行う。
後かたづけ		1月上	トラック トラクター	2	10	20		
計						344		

